

ご利用者のレビュー – ジョージ・ドウウォルフ, 写真家

ジョージ・ドウウォルフ: « 写真家にとって、スキャン作業は技術と経験を必要とする責任ある作業である。25年以上前から、様々なスキャナーを使用していますが、それぞれのスキャナーの呪文・禁呪・キーボードの組み合わせを把握しなくてはなりません。人気のスキャナーソフト SilverFast 8 は謎の多きこのIT関連機器領域の呪縛を解いた。この一線において、SilverFast はデジタル化の作業を容易くしながらも、特に新バージョンにては、高品質の完成を約束してくれる。

ポジティブフィルムでもネガティブフィルムでも SilverFast 8で作業準備をすれば(トーン値修正は、白黒画像に必須の唯一のツールである)、完成に、変わりはない、つまり、細かい影部分と光部分が明確で中間値の分離が明確である。ディアス。ネガフィルム・プリントのスキャン作業をする、全ての写真家にこのソフトは必需品とあるだろう。全く大したクオリティーのソフトウェアだ。»

ジョージ・ドウウォルフ: 1964年より写真家。Rochester Institute of Technology にて修士取得。1970年代に、アンゼル・アダムや、ミノア・ホワイトと共に学ぶ。ドウウォルフは、多数の展覧会に参加し、40ほどの作品を展示した。デジタルプリント・ワークショップ、Master Print und Contemplative Photographyなど、様々なワークショップをUSAで精力的に開催している。

ジョージの情熱はミステリー写真同様に、写真の世界での完成度が高い。彼のミステリアスなスタイルを表現するために、古い中国の風景画と西洋式の風景画の構成を結び付けて作品の表現をする。

